

## < 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

平成29年9月2日付けの私の公民館レポート「世界の中の日本の皇室」で「恐れ多くも皇太子妃、雅子様のこと」と題し現在の皇后陛下のお話をさせて頂いた。先日、天皇皇后両陛下が初の国賓として米国トランプ大統領夫妻を迎え、国際親善の舞台にデビューされた。終始、流暢な英語で積極的に接するお姿からは、豊富な海外経験という強みを生かし諸外国との友好親善に力を注ごうとするお二人の意気込みが伝わってきた。前述の公民館レポートで「雅子さま、ゆっくりでええじえ」と申し上げたが、それは全くの杞憂でありました。皇后さまのあの「自信に満ちた笑顔」、決してその場で取り繕ったものでない心の底からの輝く知性と相手への思いやり・・・世界中に報道されたこの光景はこの先日本丸がどんな困難に遭おうともそれに打ち勝っていける事を両陛下が示して下さいたのだと思うのは私だけでしょうか・・・？

<5月27日(土)に行った「第4回福庭自治公民館建設推進委員会」の内容>

### 第4回福庭公民館新築に係る推進委員会の概要

令和元年5月27日

記録者 副館長 土井

- 1 開催日時 令和元年5月27日午後7時30分から午後8時30分
- 2 開催場所 福庭公民館
- 3 参加者 館長、副館長  
、徳丸宏則(3班・行政経験者)、井手添 誠(15班・建築関係者)他
- 4 協議の内容  
公民館の基本設計に係る住民意見を踏まえた原案を作成した。

#### ○ 公民館の原案 (別添図面のとおり)

主な配慮のポイント(概算予算額 4,100万程度)

##### 【一階部分】

- ・多目的便所を設置(車椅子対応)
- ・料理教室ができる程度の調理室に規模変更並びに小会議室隣接への配置変更
- ・回覧コーナーを外部からの利用とする
- ・外部用倉庫にアクセスできる動線考慮

- ・面積を抑えるため小会議室を9畳とし床は板張りに変更
- ・原則内部はバリアフリーとし、外部からの動線計画を検討

【二階部分】

- ・集会室の床を畳と板仕上げに変更
- ・物入の扉を折戸形式とし低椅子等の収納に配慮
- ・便所を1ブース設置
- ・階段の段差配慮（160mm／段程度）及び中間程度に踊り場設置並びに手すり設置

○ 今後の予定

6月20日 第5回建設委員会の開催（外観および予算額の決定）

**7月15日 特別寄付の1次集約**

7月20日 執行部で臨時総会資料の作成  
（特別会計の補正、来年当初の公民館建設予算原案、規約改正等）

**7月28日 臨時総会（予定）**

以上

\*この文章に関して補足をします。

**（1）上記の内容を踏まえた基本設計に関する最終図面を最後のページに2枚添付します。（A3判）**

（2）7月28日（日）の臨時総会以降のスケジュールは次の通りです。

- ① 2019年7月28日（日）臨時総会開催・・・この臨時総会までに法人格の取得  
 法人化の内容や新設公民館の概略を と所有権移転手続きを完了する。  
 供覧し住民同意を得る。 \*倉吉市の貸付制度からの借入金の額と  
 返済方法（財源）の確認～「繰越金」「寄付金」  
 「一般会計の緊縮化」「一般融資」の振り分け方。
- ↓
- ② 2019年8月31日までに倉吉市役所・・・「コミュニティー助成事業補助金」  
に助成金申請書を正式に提出する。 と「自治公民館施設整備資金補助」の合計  
 1,590万円支給をお願いする。（2018年8月  
 時点で市役所殿のご確認を頂いている。）
- ↓
- ③ 2020年3月までに市からの・・・なるべく早く結果を得られる様に  
満額助成金支給が正式決定する。 市側に働きかける

解体業者と施工業者を選定する。



④ 2020年4月上旬・新公民館建設着工 及び 旧公民館解体作業開始



⑤ 2020年（東京オリンピックイヤー）12月31日までに  
新・福庭自治公民館が現在の場所に完成する。

（\*補助金の完了報告及び不動産登記の完了）

### <福庭自治公民館新築特別寄附金（自主的な寄附）の集計状況>

住民の皆様からの上記自主的な寄附金の集計状況を毎月この館長報告でお伝えしていきます。この寄附は既にご連絡している通り本年7月15日を取り纏め上の期限としております。（その後も受け付けます。）

受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯 080-4261-1979)お電話を下されば、ご持参いただかなくとも私が戴きに参ります。

\* 令和 元年(2019年) 5月31日現在の集計結果(総計)は次の通りです。

- (1) 寄付頂いた世帯数： 109 世帯 （全体の約 40 %）
- (2) 寄附金の合計： 281 万円
- (3) 個々の寄付金額の概要：最高額：30 万円（1名）、  
25 万円（1名：福庭以外の方です）  
10 万円（6名）、5 万円（8名）、3 万円（13名）  
2 万円（8名）、1 万円（71名）他
- (4) 今回は寄附を見送られた世帯数： 164 世帯

\* 目標は 1,000 万円です。皆様、更にご検討ください。



\* <館長の行動日誌 5 月分>は、来月に 6 月分と併せてご報告します。

\* <ちょっと一服コーナー>もお休みし新シリーズ「心に残った一曲」第 3 弾を次ページに掲載します。

～ 新シリーズ「心に残った一曲」(第3弾) ～

**ベートーベン作曲・ピアノソナタ 第8番「悲愴(ひそう)」**

もう50年も前の事だが、河北小学校の児童だった頃、下校時に学校のスピーカーから流れるクラシック音楽はドヴォルザークの新世界交響曲 第2楽章「家路」か、チャイコフスキーの交響曲 第6番「悲愴(ひそう)」の第1楽章の真ん中あたりのメロディーだった。どちらもゆったりとした曲調で黄昏(たそがれ)の下校時の少し嬉しいようで寂しいような気持ちにピッタリの音楽だった。

来年の2020年(令和2年)は「東京オリンピック開催」と「新・福庭公民館竣工」そして意外と知られていない「ベートーベン生誕250年」の記念すべき年である。このベートーベンの話題は実は欧米ではオリンピックよりも重きが置かれており、すでに沢山の演奏会を含む企画・イベントが目白押しであるがこの倉吉でも3年に一度「未来中心」で公演となる「県民の第九」が丁度来年にあたる。

そのベートーベン作曲の音楽の中にも、冒頭の「悲愴(ひそう)」と同じ題名のピアノソナタがある。それが3つの楽章からなる第8番のソナタである。その第1と第3楽章が焦燥的で激しい感情の動きを表現しているのに対し、世界で最も有名な第2楽章はそれらに挟まれて、何か救われたような、ひと時の癒しやぬくもりを感じさせる。さらに、一つ一つの鍵盤をゆっくりと押す指の動きが母性の様な温かみを醸(かも)しだす。

歌謡ポップスの名曲に中島みゆきの「時代」という歌がある～「今はこんなに悲しくて涙もかれ果てて、もう二度と笑顔にはなれそうもないけど、そんな時代もあったねと いつか話せる日がくるわ あんな時代もあったねと、きっと笑って話せるわ だから今日はくよくよしないで 今日の風に吹かれましょう」・・・この曲が多くの人達を勇気付け希望を与えたことに間違いはない。

然し、人が絶望の淵にある時、この歌詞はむしろ空しいと私は思う。少ない余命を宣告されて重篤な病にある人や、自らの命を絶つ所まで追い込まれている人に「それは大変ですね」とは言えない。ベートーベンが「悲愴」を作った時には、既に作曲家としては致命的と言える難聴を自覚し、すぐさま完全に聴力を失った。第2楽章の「ぬくもり」即ち「ひと時の希望」が実は「悲愴」なの

かも知れない。ベートーベンはそう言いたかったのではないだろうか？

日頃の公民館活動においても、儀礼的でマニュアル的な対応ではなく悲愴第 2 楽章のような「ぬくもり」を身につけた行動を心がけたい。

以上